

# プログラム

9:00 – 9:05 開会の挨拶 奥村 大河（東京大学）

～第1部～ 座長：白井 厚太郎（東京大学）

9:05 – 9:20 高橋 玄（東京大学）

「魚類耳石を構成する vaterite の結晶学的特徴」

9:20 – 9:35 丸形 詩歩（東京大学）

「非晶質炭酸カルシウムを経由したカルサイト格子中への L-アスパラギン酸の取り込み」

9:35 – 9:50 飯島 まゆみ（東京大学）

「ゾウギンザメ歯板の高石灰化組織における結晶相の制御」

9:50 – 10:05 尾崎 紀昭（秋田県立大学）

「イネ葉身機動細胞におけるケイ酸体の形成過程とナノ構造解析」

10:05 – 10:20 Jahan Iffat（香川大学）

「To provide new insights into the relationship between capillary vessels and bone remodeling: Black soldier fly (BSF) feed chicken bone morphology」

～第2部～ 座長：中島 礼（産業技術総合研究所）

10:30 – 10:45 松本 由樹（香川大学）

「新たな動物飼料資源としての昆虫利用と評価法」

10:45 – 11:00 茅根 創（東京大学）

「ラン藻・藻類マット光合成によるビーチロック固化」

11:00 – 11:15 清水 啓介（東京大学）

「軟体動物腹足類における幼殻基質タンパク質の進化」

～特別講演1～ 座長：鈴木 道生（東京大学）

11:15 – 12:00 安元 剛（北里大学）

「バイオミネラリゼーションを利用したカーボンリサイクルの可能性」

12:45 – 13:45 ポスター発表（奇数番号）

13:45 – 14:45 ポスター発表（偶数番号）

～第3部～ 座長：遠藤一佳（東京大学）

14:45-15:00 福田 幸広（筑波大学）

「単細胞性紅藻 *Galdieria sulphuraria* の高濃度鉄に対する生理学的応答」

15:00-15:15 吉國 由希久（東京大学）

「疑似唾液中での剥離口腔上皮細胞の石灰化」

15:15-15:30 高木 良介（近畿大学）

「アコヤ貝の疎水性タンパク質精製の試みと性質の解析」

15:30-15:45 池田 丈（広島大学）

「*Bacillus* 属細菌による芽胞表面へのシリカ層形成」

15:45-16:00 小川 智久（東北大学）

「マベガイ真珠バイオミネラルリゼーションに関わるジャカリン様レクチンの多様性と進化」

～特別講演2～ 座長：奥村 大河（東京大学）

16:10-16:55 井上忠信（物質・材料研究機構）

「甲殻類最強の把持力を持つヤシガニのハサミの組織構造と機械的特性」

16:55-17:00 閉会の挨拶

## ポスター発表

- 1 二川 慶（東京大学）  
「バイオミネラルタンパク質の low complexity region の構造、機能解析」
- 2 小泉 京平（東京大学）  
「ミオグロビンにより合成した Pyrite ナノ粒子の性状解析と大量合成の検討及びミオグロビンの機能部位の探索」
- 3 龍 鄭（東京大学）  
「マガキにおける貝殻タンパク質の機能解析」
- 4 朱 凌霄（東京大学）  
「*Pinctada fucata* の真珠層におけるキチン分解酵素の役割の解明」
- 5 唐 冬林（東京大学）  
「金ナノ粒子の生成に参与する微生物の生体分子 DP-1 に関する研究」
- 6 加藤 由悟（東京大学）  
「環境微生物による鉛濃集とナノ粒子化機構の解明」
- 7 大島 ゆり（慶應義塾大学）  
「アンモライト真珠層の構造解析」
- 8 西尾 尚剛（慶應義塾大学）  
「ホネガイの交差板構造の解析および機械的特性の評価」
- 9 藤巻 利奈（慶應義塾大学）  
「放散虫の硫酸ストロンチウム骨格の解析」
- 10 金澤 早陽子（慶應義塾大学）  
「ウシ切歯の象牙質における水酸アパタイトのナノ構造」
- 11 尾張 友香（慶應義塾大学）  
「ツノケイソウ刺毛のバイオシリカの構造と機能評価」
- 12 小林 直矢（東京薬科大学）  
「円石藻 *Pleurochrysis* における石灰化関連タンパク質の解析」
- 13 山崎 望（北海道大学）  
「イネ科植物のケイ酸体およびペプチドを用いた合成シリカの分子構造」
- 14 長井 裕季子（海洋研究開発機構／国立科学博物館）  
「磁器状石灰質殻有孔虫 *Sorites* sp.における形成途中の殻の微細構造観察」
- 15 奈良 雅之（東京医科歯科大学）  
「拡散反射型赤外イメージングによるメダカウロコの解析—二次微分演算イメージングの有効性」